

働き方改革の取組状況について

朝日生命保険相互会社（社長：木村 博紀）は、2018年度より「イキイキと働く。そして成長する。」をスローガンに掲げ、「生産性指標」と「職員満足度」をKPIとして働き方改革をすすめた結果、働き方改革推進以前（2017年度）と比べ、一人当たり総労働時間は12%削減を実現いたしました。

2021年度以降は、新たなフェーズとして「働き方改革の浸透による生産性・生産力向上」に取組み、引き続き、「職員が公私とも充実し、職員・会社ともに成長すること」を目指してまいります。

2021年度以降の取組み(第3フェーズ)

- 従業員の成長を促し、やりがい・貢献意欲の向上を通じた自律的な行動による生産性向上にむけ、「1on1ミーティング」を全社展開するとともに、「従業員エンゲージメント※1」を可視化・分析し、所属の組織課題を特定、現場主導での組織改善につなげるエンゲージメント解析ツール「wevox(ウィボックス)」※2を新規導入



※1 従業員エンゲージメント：組織や仕事に対して自発的な貢献意欲を持ち主体的に取り組んでいる状態を表した指標

※2 ㈱アトラエ社が開発・運営するエンゲージメント解析ツール「wevox」詳細後述

- 2020年度より導入している「生産性指標」を、営業所長の評価にも新たに導入
- 若手・中堅・ベテラン・女性層別の各活躍推進策等を展開
- 生産性向上策・業務効率化策を展開
- 4月よりフレックスタイム制導入や在宅勤務の拡充等を展開（いずれも本社）

(参考)これまでの取組結果(第1・第2フェーズ)

社長を委員長とする「働き方改革推進委員会」を設置し、従業員の声を集約しながら、「イノベーション」・「ダイバーシティ」・「働きやすさ」の3つの視点により諸対策を検討・実施してまいりました。

- 「生産価値指標」「労働時間指標」を2軸とする生産性指標を創設
 - ・ 取組良好組織に対し全員に褒賞を支給する表彰制度を展開
 - ・ 所属長の評価に時間の概念を導入
- 職員意識調査を定期的実施、所属毎の職員満足度を指標化
- 全社アンケートで削減要望項目洗い出し・RPA化等業務効率化を推進
- 時間単位年休導入、育児・介護等両立支援策拡充、在宅勤務制度導入(本社)等、働きやすい環境を整備



※2017を100とした場合の水準
2020は、2月時点

以上

(参考)

■ 株式会社アトラエについて

社名：株式会社アトラエ（東証一部証券コード：6194）

所在地：東京都港区麻布十番 1-10-10 ジュール A 8F

代表者：代表取締役 CEO 新居 佳英

URL：<https://atrae.co.jp/>

事業内容：People Tech 事業（wevox・Yenta・Green）

「世界中の人々を魅了する会社を創る」というビジョンを掲げ、全ての社員が誇りを持てる組織と事業の創造にこだわり続ける*People Techカンパニー。

*People Tech：“テクノロジーによって人の可能性を拓ける事業を創造していく”という想いを込めてアトラエを再定義した造語

■ 「wevox（ウィボックス）」について

エンゲージメント研究の国内第一人者である慶應義塾大学 島津明人教授の監修に基づき開発されたエンゲージメント解析ツール。“PC やスマートフォンから簡単に回答でき、極めて負担の少ない UI 設計”と、導入企業さまからご評価いただく。アンケート結果はリアルタイムで自動集計され、蓄積されたビッグデータと共に解析することで組織ごとの特徴や傾向、課題の特定を可能としている。現在ビジネス領域のみならず、スポーツや教育の領域でも広く導入が進んでおり、導入組織数は 1,800 以上、回答データは累計 4,050 万件を超える。2019 年度グッドデザイン賞を受賞。(2021 年 2 月 10 日現在)